

三滝だより

NO. 277

2025年5月15日発行



ごかんつか 五感を使って みたきもり 三滝の森たんけん



ぼく、ミタッキーだよ。三滝少年自然の家には、い

ろいろな自然がいっぱい。自然の中の色やにおい、鳴き

声、森の中を吹く風も、春・夏・秋・冬の季節ごとにど

んどん変わっていくよ。今回は、ぼくといっしょに5月の

三滝の森をたんけんしてみよう。たんけんするときには、見たり、さわったり、

耳をすませたり、それから、食べて味わうことはできないけれど、においをか

いだりと、いろいろな感覚（五感）を使い、確かめてみよう。こどものころ

に、いろいろな感覚を使うことは、脳を発達させ、ものを考えたり、感じたり

する力を大きく伸ばすことができるんだよ。



(1) 咲いている花を見よう。

ネジキは、イノシシ谷の近くに生えていて、白い

花が1列に並んで下向きに咲くよ。木の幹はねじれ

ていて、幹の表面（樹皮）は、しま模様だよ。



ネジキ (ツツジ科)

(2) 木の皮をさわってみよう。



オオバヤシャブシ (カバノキ科)

幹の表面（木の皮）は、ガサガサだったり、

ツルツルだったり、木によって様子が違うんだ

よ。オオバヤシャブシやネジキなどゴツゴツし

ていて温かく感じたり、リョウブなど皮がはが

れていて冷たく感じたりする木もあるよ。

(3) 葉っぱのにおいをかいでみよう。

クスノキは、葉をさわるとつるつるして気持ち

いいよ。その葉を少しちぎってにおいをかいでみると、

スーッと気持ちのよい香りがするよ。でも、虫はこ

のにおいがきらいなんだって。それは、タンズに入れる

防虫剤にも使われているからね。



クスノキ (クスノキ科)



草もちのにおいのような香り ヨモギ

(4) 風の音を聞いてみよう。



メジロ

三滝の森の中で耳をすませると、さわやかな風が葉っぱをゆ

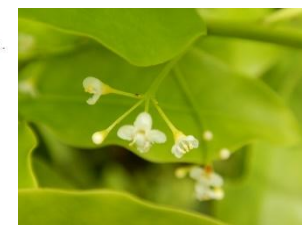
らす音や、鳥の鳴き声も聞こえてくるよ。ソヨゴは、風にそよ

いでさらさら音がするので、この

名前が付いたそうだよ。ぼくミタッ

キーの仲間のメジロをはじめ、いろ

いろな鳴き声も聞こえてくるよ。



6月ごろのソヨゴ (モチノキ科)

シダ植物について

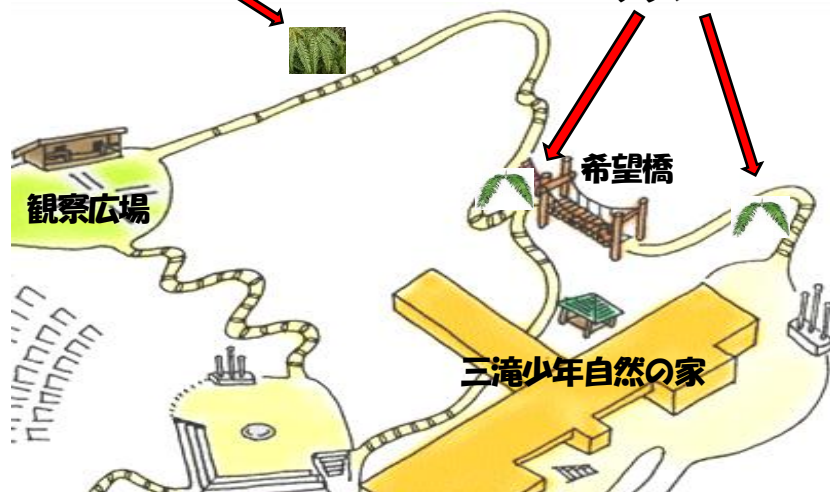
三滝少年自然の家希望橋付近には、ウラジロという植物が自生しています。そして、希望橋から観察広場に向かう坂には、コシダという植物が自生しています。どちらもワラビやゼンマイの仲間、シダ植物といえます。



コシダ

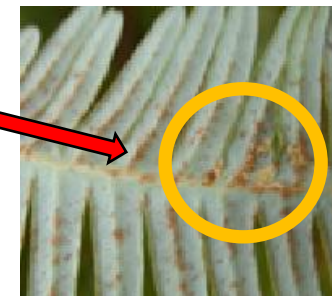


ウラジロ



シダ植物は、種で仲間を増やすのではなく、胞子というもので仲間を増やす、胞子植物です。胞子植物は、種を作らないので花をさかせません。

葉っぱの裏のつぶつぶが、胞子の入った袋です。



シダ植物は、約4億年前から地球に存在しているといわれています。シダ植物の後に、地味な花をさかせる裸子植物があらわれました。そして、その後に花びらのある花をさかせる被子植物があらわれました。被子植物の中にもたくさんの種類があります。植物の進化について調べてみても面白そうですね！

ウラジロは、グライダーのように飛ばして遊ぶことができ、コシダは、弓矢のように遊ぶことができます。どちらも「見て、ふれて五感で楽しむ自然散策」の一つなので、ぜひ挑戦してみてください。



公益財団法人広島市文化財団
広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番地の20
TEL082-238-6301 FAX082-238-6302
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>